

1 次関数のグラフの切片と傾き

$y = ax + b$ のグラフは、

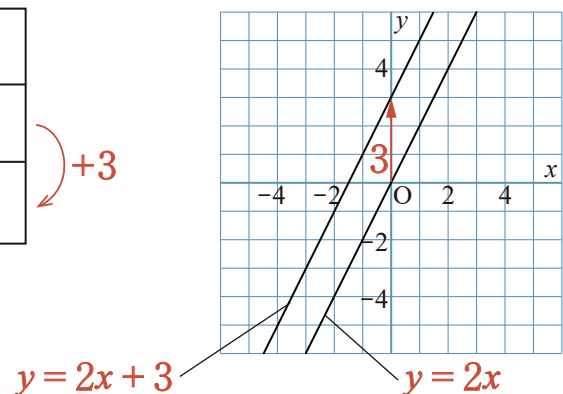
$y = ax$ のグラフを y 軸の正の向きに b だけ平行移動させたものである。

$y = 2x$ と $y = 2x + 3$ の関係は、下の表ようになり、

$y = 2x + 3$ のグラフは、

$y = 2x$ のグラフを y 軸の正の向きに 3 だけ平行移動させたものである。

x	...	-2	-1	0	1	2	...
$2x$...	-4	-2	0	2	4	...
$2x + 3$...	0	1	3	5	7	...



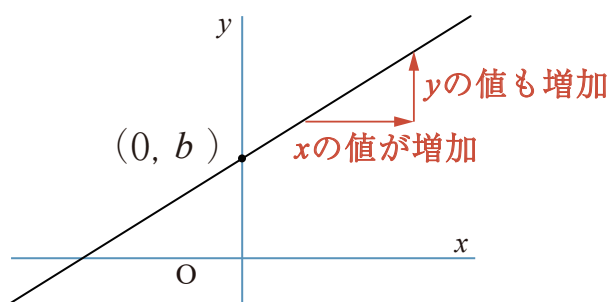
$y = ax + b$ のグラフの、

b は切片といい、グラフの直線と y 軸との交点の y 座標となる。

a は傾きといい、グラフの直線の傾きぐあいを示している。

$a > 0$ のときは右上がりのグラフとなり、 $a < 0$ のときは右下がりのグラフとなる。

$y = ax + b$ の $a > 0$ のとき
右上がりのグラフになる



$y = ax + b$ の $a < 0$ のとき
右下がりのグラフになる

